

サイド実験台

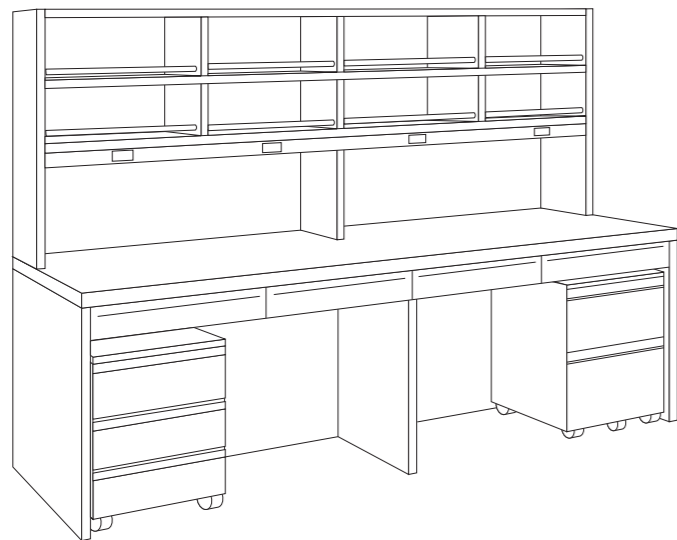
取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますようお願い申し上げます。

この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。

尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
2. 使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた場合は、（組立て方法に従って）締め直して下さい。ゆるんだままで使用しますと、変形や破損及び転倒等の事故の原因となります。
3. 製品の分解・改造や部品を外したり、外れたままで使用しないで下さい。
4. 引出しはゆっくりと引いて下さい。強く引きますとストッパー破損の原因となり、抜け落ちる恐れがあります。
5. 引出しを引いたまま上から強く押えたり、重い物を置いたり、踏み台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
6. 収納物が棚板よりはみ出した状態でのご使用にならないで下さい。落下等の事故の原因となります。
7. 転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。また、同時に二つ以上引出さないで下さい。間違っても同時に二つ以上の引出しを出した場合は、必ず戻して下さい。
8. 可動部の隙間に指を入れますと、指を挟む恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
9. この製品を移動する際は、実験台とキャビネットワゴン別々に行います。
(実験台)
オープン架台及び載せてある物を全て下ろし、引出しを全て抜き取り、天板をもち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。引きずって移動したり、乱雑に扱おうと破損や事故の原因となります。
(キャビネットワゴン)
引出しを全て抜き取り、キャスターのストッパーを解除してゆっくりと移動して下さい。
10. 製品の設置は必ずアジャスターで調整し、水平を保って下さい。水平が保たれていないと、引出しが閉まらない恐れがあります。また、前倒れの状態で設置しますと、引出しが飛び出るなどの転倒や破損等事故の原因となります。
11. キャビネットワゴンを台車や運搬車の代わりに使用しないで下さい。
12. キャビネットワゴンを設置する際は、必ずキャスターのストッパーをロックして下さい。
13. オープン架台のコンセント定格はAC125V・12A・1200Wまでです。それ以下にて使用して下さい。
14. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内又は屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因になりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
6. キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり跡形が残る場合があります。
7. ポリエステル化粧板は、比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えると損傷の原因となります。
8. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
9. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

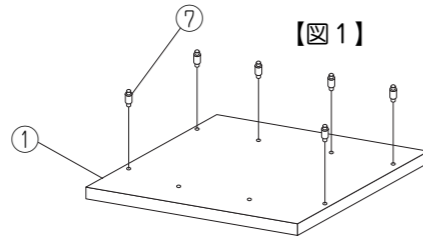
Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

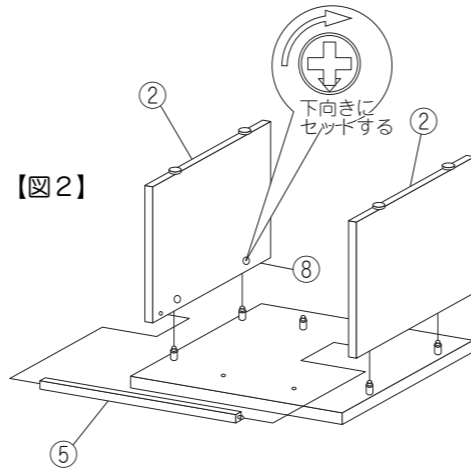
お客様相談室  0120-575101

《W1200、1500、1800 引出し無の場合》

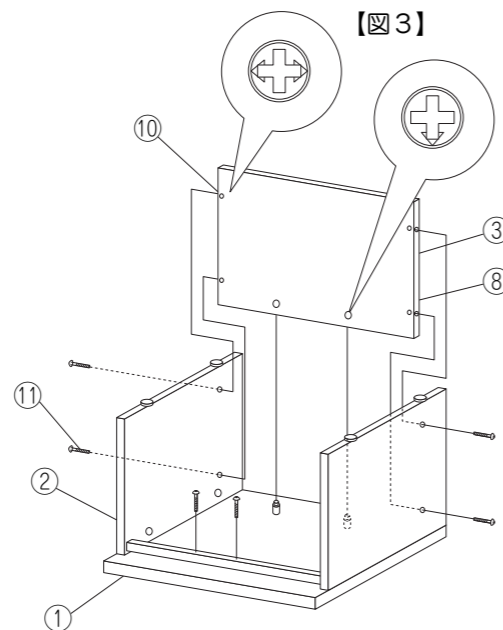
1. 天板①を裏返しに置き、CONNECTINGボルト⑦を図1の様にします。



2. 図2の様に締付ミニ円盤⑧を側板②にはめ込みます。そして、1.で作りました天板の上に置きます。(うまく入らないときは、締付ミニ円盤の矢印位置を微調整して下さい。) また、前板⑤を左右の側板②の間および天板①にはめ込んで下さい。最後に、側板②についている締付ミニ円盤を、+ドライバーで時計方向に約90°回して側板と天板を固定して下さい。



3. 後板③に締付ミニ円盤⑧、コネクター⑩をはめ込みます。そして、図3の様に上から差し込みます。次に、2.と同じ様に締付ミニ円盤のを約90°回します。最後に、側板②の外側からと前板⑤の上部より連結ボルト⑪を入れ、キャップを入れて完成です。



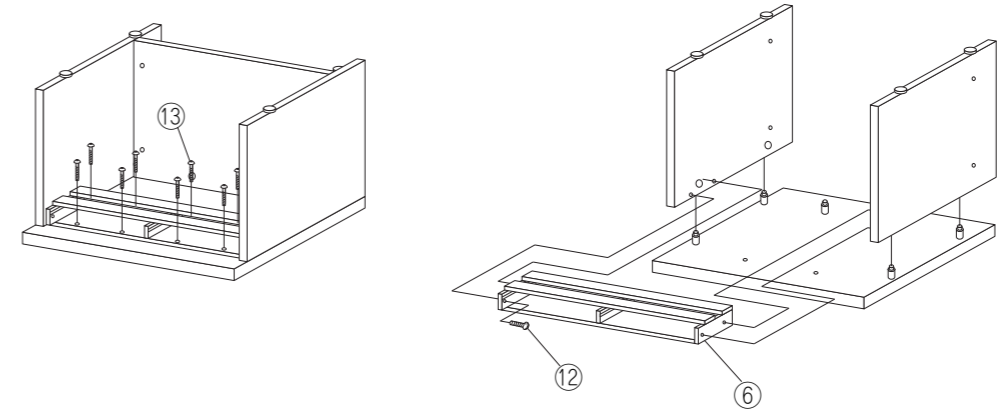
●部品明細

番号	品名	数量 (引出し無)	数量 (引出し付)
		W1200,1500,1800	W1200,1500,1800
1	天板(トレスパ)	1	1
2	側板(アジャスター組込済)	L・R各1	L・R各1
3	後板	1	1
4	中仕切(アジャスター組込済)	-	-
5	前板	1	-
6	引出し	-	1
7	CONNECTINGボルト M6	6	6
8	締付ミニ円盤 φ15×16 l	6	6
9	締付ミニ円盤 φ15×22 l	-	-
10	コネクター φ10×13 l	4	4
11	連結ボルト(キャップ付)M6×60 l (P=1.0)	6	8
12	トラス小ねじ M6×300 l	-	4
13	木ねじ	-	8

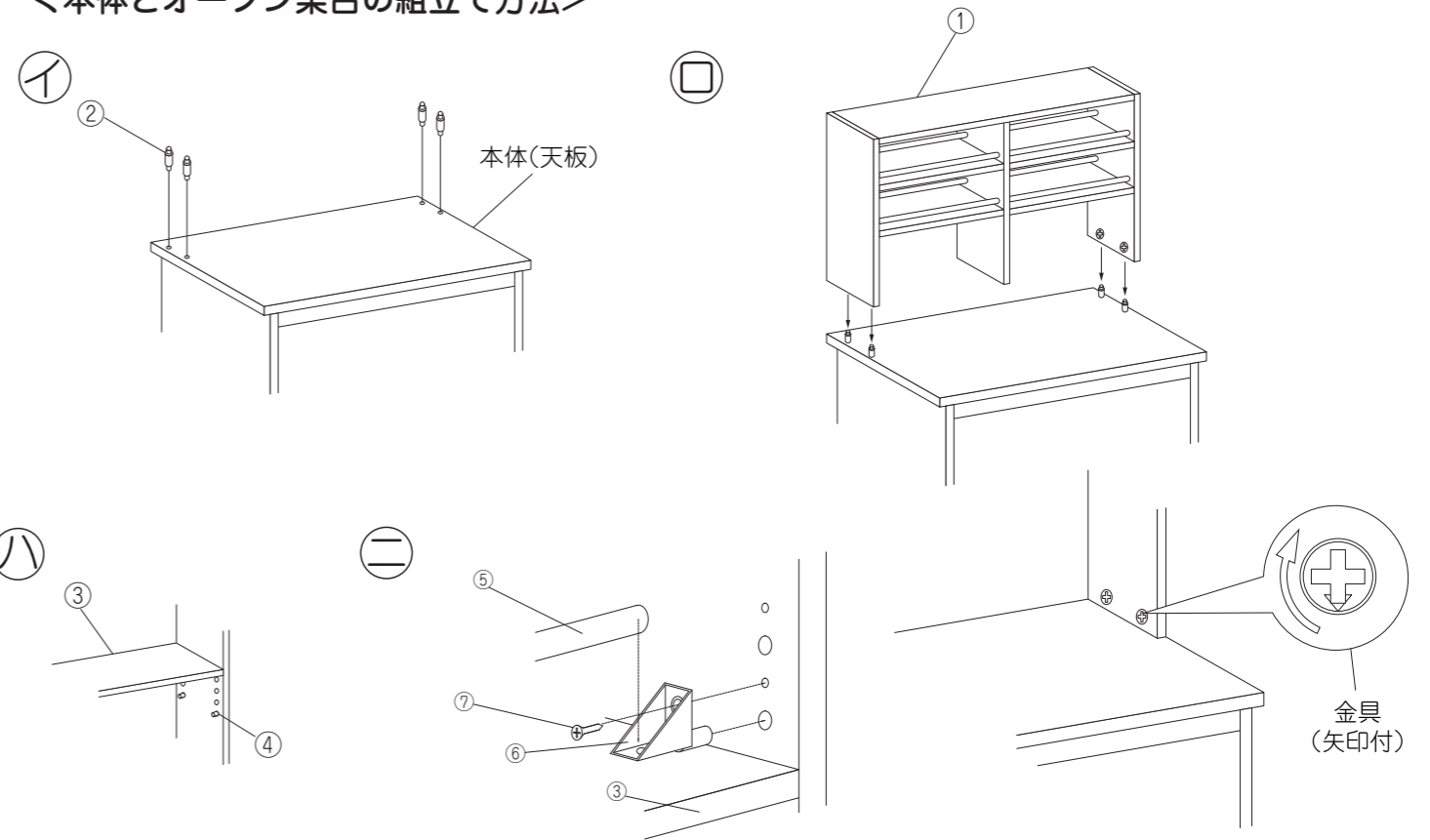
《引出し付の場合》

このとき、前板のかわりに引出し部を取り付けます。

1. 引出しを取り出し、引出しフレームを裏返しにします。
2. フレームを側板②と側板の間に、トラス小ねじ⑫で止めます。そして、木ねじ⑬でフレームと天板①を固定します。全ての組み立てが終わりましたら、引出しを入れて引出し部の完成です。



<本体とオープン架台の組立て方法>



- ① 本体天板のキャップを外し、CONNECTINGボルト②をドライバーで取り付けて下さい。
- ② オープン架台①の底面の穴を先に取り付けたCONNECTINGボルト②に通して置き、オープン架台内側の金具(矢印付)をドライバーで時計方向へ90°以上止まるまで回して固定して下さい。
- ③ 棚板受④をオープン架台①の穴に差し込み、棚板③の切り込み部にはめ込んで下さい。(棚板はオープン架台1台につき2枚セットします)
- ④ 棚ガード受⑥を棚板③の上に差し込み、タッピングネジ⑦で固定し、棚ガード⑤をはめ込んで下さい。

●架台部 部品明細

番号	品名	数量
1	オープン架台	1
2	CONNECTINGボルト(M6)	4
3	棚板	2
4	棚板受	8
5	棚ガード	8
6	棚ガード受	16
7	タッピングネジ(皿頭)	16